

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|-----|-----|-----------|-----|--------|
| 学校番号 | 210 | 学校名 | 仙台市立愛宕中学校 | 校長名 | 鈴木 友吉子 |
|------|-----|-----|-----------|-----|--------|

- 1 取組のタイトル、テーマ
「地域を支える愛宕中学校」



2 取組の紹介

(1) 環境問題に関する取組について

① SDGs の調べ学習（1学年・総合的な学習の時間）

17の目標の内、11の目標について、3~4人の班に分かれて調べ学習を行いました。SDGsを達成するために自分たちにできることは何か、調べ学習や学年発表会での他の班の発表を通して考えました。中でも、環境問題について、地球温暖化につながる行動を減らすためには、「バスなどを使い、大人数で利用する」「植物を育てる」など、環境への取組に気付くことができた生徒がいました。



SDGs 学習の発表の様子

② 愛宕未来学（3学年・総合的な学習の時間）

自分たちの住む地域で、持続可能な社会を実現していくためにはどうすればよいのか、探究的に考え、地域活性化の方策を3~6人の班毎に発表しました。



愛宕未来学（バリアフリーについて発表）



愛宕未来学（福祉・健康について発表）

(2) ボランティア部の活動について

昨年度から全校生徒が所属するボランティア部を発足し、参加者を募り活動してきました。



プランターの花植え

今年度は、「向山児童館行事のお手伝い」「地域ワンダーin 向山」「地区防災訓練」「プランターの花植え」「雪かきボランティア」などの活動を行い、地域の行事の運営の手伝いや、地域のために取り組みました。「地域ワンダーin 向山」は地域の文化祭として行われ、受け付けや来場者の案内、会場片付けと、様々な場面で運営を支えました。たくさんの地域の方々と触れ合い、地域への思いを深めることができました。

3 取組の成果

様々な取組を通して、環境問題を含めて地域に対する生徒の関心が高まるとともに、課題意識が向上しています。生徒一人一人が地域のために何ができるか考え、地域に貢献したいという思いを強めています。今後も、地域を支える「人材」として様々な活動に取り組ませ、環境問題の解決のため、また、地域を支えるために必要な実践力や知識を身に付けるための取組を続けていきたいと思います。